

(平成 22 年 6 月掲載)

第 15 話「皆さんの会社では、こんなに予測を間違うのでしょうか？」

<空港の需要> 08 年度 “全国の 67 空港で予測を下回る” (平成 22 年 3 月 9 日配信の毎日新聞の記事より)

国土交通省は 9 日、国内 98 空港のうち資料が存在する 75 空港の需要予測と実績 (08 年度) を発表した。需要予測を上回ったのは羽田、名古屋、那覇など 8 空港にとどまり、9 割にあたる 67 空港で実績が需要予測を下回った。甘い需要見通しで不採算の地方空港が乱立された実態が浮き彫りになった。

実績が需要予測を上回ったのは、那覇 (達成率 118%)、名古屋 (同 109%)、羽田 (同 103%) のほか、旭川、庄内、岡山、長崎、熊本の計 8 空港。一方、国管理空港としては、稚内 (同 28%)、宮崎 (同 34%)、北九州 (同 42%) などが大きく需要予測を下回った。

国交省航空局は「空港によっていろんな事情があり、一概に需要予測が甘かったとは言えない」としている。

私は 20 年以上に渡ってひびき灘港、日立那珂港、川崎港、静岡空港、茨城空港などの港湾や地方の空港が開発・整備されてくるのを見てきたが、予測は殆どが嘘だと感じていた。もちろん何度も論文に書いているし講演でもお話して来たが、空港が欲しい、港が欲しいとする人々に計画書を書かせたら、大甘な数字を作るのである。